

紀州材流通促進協議会 × 和歌山県

紀州材流通促進協議会は、原木及び紀州材の安定供給体制を構築し、建築物における紀州材の利用を促進することにより、2050年カーボンニュートラルの実現や林業・木材産業の活性化に貢献するため、和歌山県と協定を締結しました。

和歌山県木材利用拡大に向けた建築物木材利用促進協定

➤ 紀州材流通促進協議会の木材利用の促進に関する構想

原木及び紀州材の安定供給体制を構築し、建築物における紀州材の利用を促進することにより、2050年カーボンニュートラルの実現や林業・木材産業の活性化に貢献する

➤ 紀州材流通促進協議会の構想の達成に向けた取組の内容

- 建築物での紀州材利用が円滑に行われるための原木の安定供給
- 合法性、持続可能性が証明された原木の安定供給
- 県内の建築主及び建設事業者に対して紀州材を積極的に活用するよう情報発信

➤ 構想の達成のための和歌山県による支援

- 取組が安定かつ円滑に行えるよう助言するとともに、広く情報発信する

協定締結日：令和5年8月10日

有効期間：協定締結日から令和10年3月末まで

対象区域：和歌山県

記載例

学校法人 立命館 × 大分県

学校法人 立命館は、自らが設置する大学の教学棟の建設にあたり、構造や内外装に地域材を積極的に活用することにより、2050年カーボンニュートラルの実現等に貢献していくとの構想を実現するため、大分県と協定を締結しました。

木材の利用促進と教育に関する協定



協定締結日：令和3年12月16日
有効期間：協定締結日から令和9年3月末まで
対象区域：大分県

➤ 立命館の木材利用の促進に関する構想

立命館アジア太平洋大学(APU)における教学棟の建設にあたり、構造や内外装に地域材を積極的に活用することにより、2050年カーボンニュートラルの実現等に貢献していく。

➤ 構想の達成に向けた取組の内容

- ・APUの教学棟に地域材、合法伐採木材を活用
- ・大分県初となる「木3学(もくさんがく)の準耐火構造建築」の教学棟を教材として、APUの授業や各種活動を通じ、APUの学生に対して、木材利用の意義やメリットを教育・啓発
- ・キャンパスを訪れる国内外の関係者に対して情報発信

➤ 構想の達成のための大分県による支援

- ・活用可能な補助事業やAPUの教育に有益な情報を提供
- ・定期的な意見交換や木材利用に関する相談窓口・専門家の紹介
- ・協定に基づく立命館の取組を優良事例として積極的に広報

記載例

一般社団法人ひみ里山杉活用協議会 × 氷見市

一般社団法人ひみ里山杉活用協議会は、ひみ里山杉等(氷見産木材)の利用を推進し、森林が有する多面的機能の持続的な発揮、林業及び木材産業の健全な発展並びに木材の積極的な利用による循環型社会の形成に寄与することを目的とし、氷見市と協定を締結しました。

ひみ里山杉等（氷見産木材）利用促進に関する協定



協定締結日：令和4年3月15日
有効期間：協定締結日から令和7年3月末まで
対象区域：氷見市及び周辺地域

- **ひみ里山杉活用協議会の木材利用の促進に関する構想**
ひみ里山杉等(氷見産木材)の利用促進に関わる啓発活動や木育活動を通して、人と自然とのつながりを取り戻し、その知恵や技術を次世代に引き継ぎ、自然と共存した持続可能な社会を実現する。
- **構想の達成に向けた取組の内容**
 - ・協定に基づく以下の取組等を実施し、SNS等で積極的に広報する
 - ①ひみの森づくり塾を開催し、自伐林家・自伐型林業家の育成を図る
 - ②ひみ里山杉シンポジウムを通じて「木を使う生活の豊かさ」を発信
 - ③伐採・植林体験などの自然体験プログラムを提供
 - ・川上川中川下が連携した市場のニーズに確実に対応できる体制づくりに取り組む 等
- **構想の達成のための氷見市による支援**
 - ・技術的助言や活用可能な補助事業等の情報提供を行う
 - ・ひみ里山杉等(氷見産木材)の生産等担い手となる人材の育成やその他必要な施策を講ずるよう努める 等